

研究計画概要

助成年度・種別	2018年度 若手研究助成
研究者	田中佑樹
所属	早稲田大学大学院人間科学研究科
研究テーマ	ダルクを利用する薬物使用者の改善の促進を目指した認知行動療法プログラムの開発
研究計画概要	<p>平成 25 年(2013 年)に「刑の一部の執行猶予制度」が導入されたことから、わが国における薬物事犯者の再犯防止の取り組みとして、社会内処遇の充実が急務とされる現状にあるといえる。このような社会内処遇の中核を担う機関の 1 つとして、ピアサポートに基づく回復支援施設である「ダルク」があげられる。しかしながら、ダルクの利用によって必ずしも十分な改善が期待できない者も一定の割合で存在することが明らかにされつつある。</p> <p>そこで本申請においては、ダルクの利用による改善を阻害する個人差要因を明らかにしたうえで、これらの個人差要因をターゲットとした認知行動療法プログラム(ダルクでの活動において生きがいを知覚できる準備性や、一呼吸において行動選択ができる準備性を整えるマインドフルネス技法などを含む)を開発してその効果の検証を行なうことを目的とする。本申請の一連の研究は、薬物事犯者に対して RNR 原則に基づく社会内処遇を実施する体制の構築に加えて、ダルクの効果性の向上による刑の一部執行猶予制度を活用した処遇の充実に寄与すると考えられる。</p>
選考委員からのコメント	<p>本研究は、薬物使用者の再使用防止に向けて効果のある処遇をするための基礎的研究である。改善を阻害する使用者の個人差要因を明らかにし、次いで個人差要因をターゲットにした認知行動療法プログラムの開発を目的としている。個人差要因に着目したところが斬新であり、研究成果に期待したい。</p>